

第12回総合アレルギー講習会 実習詳細

食物経口負荷試験

目的

食物経口負荷試験の具体的な進め方を理解できます。

内容

- (1) 全体講義（10分以内）：食物経口負荷試験の方法、リスク、注意点、評価法などについて、重要な部分に要点を絞り、講義を通して短時間で学べます。
- (2) 少人数実習（60分）：専門科、経験年数等を考慮し、少人数（講師1名、参加者3名）のグループ分けを行います。乳児期から成人期までの12例の模擬負荷試験症例から負荷試験の選択、症状への対応、外来管理などについて、ディスカッションを通じて学ぶことができます。
- (3) 質疑応答（15分程度）：各テーブルで一流の講師の先生方に質問できます。質疑応答の時間が十分にあり、日頃の疑問を解消できます。

特徴

- (1) 洗練された実習内容：毎年改善を重ね、毎年継続して極めて高い満足度を得ています。
- (2) 一流の講師陣：一流の講師の先生方と直接話せる貴重な機会です。
- (3) 試食：様々な負荷食品を試食できます。常温保存可能な負荷試験食サンプルを持ち帰ることもできます。

